

「第2期中期目標の骨子案」に対するコメント(メモ)

学習院大学 藤田 由紀子

I 構成について：特に1.(4)～(8)の内容について、機能を軸として構成する方法もあり得るのではないかと。

➤ (4)と(5)は「業務マネジメントシステムの改善」として1つにまとめられるのではないかと。

- ・単なる「マネジメントシステム」より、文脈に合わせて「業務」などの言葉を加えた方がよいのではないかと。
- ・(4)の第1項目(一つ目の・)は総論的内容。
それに対し、その後の4つの項目は各論として位置づけられる。
⇒ (4)の第2項目と(5)の第1項目は「公文書管理」
(5)の第2項目は「組織・人員の資源配分(マンパワーの配置)」
(5)の第3項目は「バックオフィス体制」

➤ (6)の第3項目、(8)の第1項目の人材育成の部分は、(7)に含めることもできるのではないかと。

- ・(7)の第3項目の次に項目を立てて挿入するか、あるいは、(7)の中に、「法令関係事務に必要な能力(法務能力)」「研究能力」の確保・育成の必要性についても言及するなど(「危機管理能力」など他の能力について言及してもよいかも)。
- ・(8)の第1項目の内容は、人材育成という点を除けば、2.(3)の内容と重複するのではないかと。

II 要望として：原子力分野に詳しくない一般の人が読んでも理解できるような工夫をして欲しい。

➤ 注や別紙等で、定義(用語解説)、略語の正式名称、関連文書などの解説を記載してもよいのではないかと。

例えば、

- ・2.(5)の「バックフィット」、「グレーデッドアプローチ」など
- ・1.(4)の「IRRS」、5.(2)の「ICRP」など
*「第1期中期目標」では初出の際に、正式名称が表記されていた。
- ・1.(2)の「安全文化」「核セキュリティ文化」などは関連文書(「原子力安全文化に関する宣言」「核セキュリティ文化に関する行動指針」など)などへの言及があってもよいのではないかと。

以上